

## いつまでもお元気で



杉本シゲさん（第二駐在）が100歳を迎えられ、表彰状と記念品が贈呈されました。

杉本さんは大正12年1月25日生まれ。自ら進んで施設のリビングに出られて毎日体操をされており、長生きの秘訣を聞くと「人に好かれること」とお答えいただきました。

お話が好きで、他の施設入所者の人ともよくお話をされます。整理整頓や食事も自分でされており、村長から表彰状を手渡されると笑顔を見せられました。

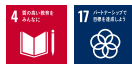


前原澄子さん（第四駐在）が100歳を迎えられ、表彰状と記念品が贈呈されました。

前原さんは大正11年12月31日生まれ。カナダで生まれ育たれましたが、日本人としての誇りがあり日本語を習うために日本に帰り女学校に通われたとのこと。

施設の荒牧代表から「これからも一緒に穏やかに暮らしていきましょう」と声をかけられるなど、職員の皆さんに囲まれて祝福されました。

## 1/27 熊本県家庭教育支援 功労者表彰



1月27日、熊本県庁地下大会議室で熊本県家庭教育支援功労者表彰式がおこなわれ、荒牧カヨ子さん（第六駐在区）が表彰を受けました。

荒牧さんは長年にわたり放課後子供教室に従事され、子どもたちの良き理解者として、子どもたちが安心して過ごせる体験の場づくり、楽しく学べるプログラムの立案などに努め、未来を担う子どもたちの成長を支えてこられました。これからの学校・家庭・地域の教育力の向上・充実のために尽力されている功績が認められ、今回の表彰となりました。

## 1/31 久木野の「地域記憶」 DVD完成



1月31日に役場応接室にて、久木野地域における「地域記憶」DVDの完成報告と贈呈がおこなわれました。同DVDは、日本福祉大学の伊藤美智予准教授らが「地域の一体感や愛着、誇りを高める契機になる」として復興支援の一環として企画し、地域住民などによる制作委員会により作成され、住民から収集した写真などをもとに生活の移り変わりを示した映像集です。

今後、さまざまな集まりの中での鑑賞会（地域回想法）や子どもへの地域教育での活用が期待されます。

問い合わせ先：南阿蘇ケアサービス TEL0967 (67) 1606

## 1/31 農業の次世代を担う



令和4年度熊本県農業コンクール大会表彰式が1月31日に熊本テルサで開催され、山室大地さん、山室由里子さん夫婦（白川）が見事に新人王部門（秀賞）を受賞されました。

この賞は、自らの農業経営・技術の改善に積極的に取り組むとともに次世代を担う者として、地域農業および地域社会の振興発展に尽力された人に贈られるもので、これまでの功績が高く評価され、今回の受賞となりました。また、同賞を受賞された山室夫婦は、農林水産祭参加行事として、農林水産大臣賞も授与されます。

## 2/3 7才の交通安全マップを寄贈いただきました



2月3日、役場庁議室でこくみん共済coopから教育委員会に対して「7才の交通安全マップ」が寄贈されました。

この取り組みは、同共済と金沢大学が共同開発したマップを使い、交通事故に遭いやすいというデータがある7才の子どもたちが、楽しく交通安全について学ぶことができるというものです。教育長からは「今回いただいたマップがあれば子どもたちがみんなで楽しみながら交通安全について学ぶことができる。大変ありがたい」との言葉がありました。

## 2/10 スポーツ推進委員功労者表彰（文部科学大臣表彰）受賞



丸野健一郎さん（立野）がスポーツ推進委員功労者表彰（文部科学大臣表彰）を受賞されました。この表彰は地域スポーツの推進に功績顕著な人に贈られる賞です。

丸野さんは、昭和61年よりスポーツ推進委員（当時長陽村体育指導委員）として現在に至るまで36年間にわたり村内のスポーツ活動に熱心に取り組まれています。これまで村球技大会や令和元年度開催の第1回みなみあそ復興マラソンなどで大会運営に当たられ、村のスポーツ振興発展にご尽力されました。

## 2/11 南阿蘇村小学生親睦ティーボール大会



2月11日にパークドーム熊本にて南阿蘇村小学生親睦ティーボール大会が3年ぶりに開催されました。この大会は、村内3小学校の6年生を対象にニュースポーツを通し、親睦を図ることを目的としています。

当日は23人が参加し、ティーボール大会をおこなった後に、モルックの体験会もおこないました。チームに分かれ作戦を考えるなど、中学校入学前に親睦を深めることができました。



## 2/17 「立野ダム周辺 かわまちづくり協議会」発足



2月17日に「立野ダム周辺かわまちづくり協議会」が発足し、その第1回を役場庁議室で開催しました。これは、立野峡谷を流れる白川、黒川の河川を活用して、地域活性化に寄与する国土交通省の「かわまちづくり支援制度」の登録に向け設けられたものです。

支援制度の登録には、かわまちづくり計画の策定が必要となり、今後は、河川管理者（国）や民間事業者及び地元住民と検討部会を設け、連携しながら計画策定に向け社会実験や利活用の検討をおこなっていく予定です。

## 3/1 小学生 ランドセル贈呈式が おこなわれました



3月1日に役場庁議室で令和4年度ランドセル贈呈式がおこなわれました。ランドセルの贈呈は、4月から村内の小学校へ進学する村内の園児を対象におこなわれるもので、今年度は63人が対象となりました。

昨年度からランドセルの色をこれまでの赤黒も含めた5色の中から選ぶことができるようになり、村長と教育長から受け取ったお気に入りの色のランドセルを背負った山室翔弥くん（写真中央左）と郷廣大くん（写真中央右）は、とても嬉しそうな笑顔を見せてくれました。

## 3/2 行政改革推進委員会 からの答申



村では、社会環境の変化に柔軟に対応し、質の高い公共サービスが提供し続けられるよう、令和3年3月に「南阿蘇村行政財政改革計画」を策定し、健全な財政基盤の確立、効率的な組織体制の構築に向け取り組みを進めています。

今年度は、人口減少や少子高齢化などによるニーズの変化に応じた公共施設の維持管理（適正配置）について審議が重ねられ、3月2日、井田会長（県立大学教授）から村長に答申がありました。委員会の概要や答申の内容は村ホームページに公開しています。

## 3/11 南阿蘇村 グローバルフェア開催



3月11日、道の駅あそ望の郷くぎので「南阿蘇村グローバルフェア2023」が開催されました。このイベントは、専門学校イデアITカレッジの開校などに伴い、村内外での国際交流の機会が急速に広がっていることから誰もが安心して生活できる多文化共生の村づくりを進めるべく開催されたものです。

当日は、日本も含めた7カ国の食事を提供する屋台や、伝統の民族衣装の顔出しパネル、多文化共生に関する取り組みの展示などが用意されたほか、モルックなどの世界各国の遊びの体験がおこなわれ、多くの来場者で賑わいました。